

一性質別歳出

義務的経費 15億8,206万8千円 (41.8%)			投資的経費 11億4,947万2千円 (30.4%)	その他の経費 10億4,726万2千円 (27.8%)		
人件費 6億7,808万7千円	公債費 6億8,650万6千円	扶助費 2億1,747万5千円	普通建設事業 11億1,624万7千円	補助費等 3億9,262万7千円	繰出金 2億9,338万3千円	物件費 2億9,098万8千円
				災害復旧事業 3,322万5千円	その他 7,026万4千円	

今月号では、「財政状況の作成及び公表に関する法律」に基づき、平成15年度決算報告を紹介いたします。

本町の平成15年度一般会計の決算額は、歳入39億9,090万3千円、歳出37億7,880万2千円となり、平成14年度に比べて歳入が4億7,851万円、歳出が3億7,366万1千円のそれぞれ増加となりました。

平成14年度と比べて、歳出の増加となった主なものは、薩摩中学校の体育館建設に伴う教育費が約1億4,000万円、町道改良、観音滝公園グラウンドゴルフ場の改修、町営住宅の補修等が約1億3,700万円、経営構造対策事業等で農林水産業費が約1億5,600万円となっております。

また総務費は、基金積立金の減少等により、約8,400万円の減となりました。

歳入では、国から交付される地方交付税が9,874万1千円の減、町民が直接町に納める町税が6,354万2千円の減となっております。また町の借金である町債が歳入の16.6%を占め2億2,190万円増加しています。なお「自主財源」及び「依存財源」の比率は前年度と同程度になっています。

税収の落ち込み等で国及び地方公共団体の財政は硬直化しており、厳しい財政運営が必要な状態です。

一般会計から切り離して、その収入・支出を管理している特別会計のうち、医療費関係では、国保会計の医療費が前年度歳出額より約3,300万円、老人保健医療会計が約2,200万円減少し、医療費が若干抑制されつつあります。介護保険会計は、ほぼ横ばいで推移しています。

簡易水道会計は、前年度に比べ約3,200万円増加しています。

平成16年度では、新庁舎建設に伴い総務費が14億8,800万円、全体の予算額は46億5,800万円と増加しています。

町では、合併を控え鶴田町、宮之城町の動向も踏まえながら、効果的な行政サービスができるよう努めます。

平成15年度 特別会計の決算

●国民健康保険会計（事業勘定）●

歳入	6億3,966万3千円
歳出	5億3,139万9千円
差引	1億0,826万4千円

●町立診療所会計●

歳入	1億6,132万4千円
歳出	1億5,029万2千円
差引	1,103万2千円

●簡易水道会計●

歳入	2億9,381万1千円
歳出	2億7,765万4千円
差引	1,615万7千円

●老人保健医療会計●

歳入	9億9,072万4千円
歳出	9億7,335万3千円
差引	1,737万1千円

～平成15年度末

町債（借入金）現在高～

借入先	借入額	比率
政府資金	40億9,359万2千円	88.2%
公営企業金融公庫	3億5,665万7千円	7.7%
銀行・農協	1億2,844万0千円	2.8%
その他	6,150万8千円	1.3%
合計	46億4,019万7千円	100.0%
町民一人当たり	103万2千円	

●介護保険会計●

歳入	5億1,855万2千円
歳出	5億0,638万2千円
差引	1,217万0千円